

<http://www.e-meisei.net>

No. 61

発行 (社)愛知建築士会名古屋西支部

編集 広報渉外委員会

名古屋市西区名西一丁目20番49号 クラ設計内
TEL (052) 908-0939 FAX (052) 908-0836

印刷所 株式会社 ウエルオン TEL (052) 732-2227

東日本巨大地震、発生 江口 眞樹

今号記事の校正中に、東日本巨大地震が発生し、未曾有の大災害が生じました。

まだ4日目で、ニュースがあるたびにどんどん被害が明らかになり、一体全容はどのようにになっているのか、被災地の惨状に心の痛みは増すばかりです。

亡くなられた方々には心より哀悼の意を表します。被災されました皆様には謹んでお見舞い申し上げ

げます。一日も早い復興をお祈りするとともに、私達も出来る限りの支援をいたしましょう。

まさに想像を絶する大津波は今まで日本人が嘗々築いたものを根こそぎ持っていってしまいました。日本ほど地震に対し、真摯に取り組んできた国はないでしょう。我々建築にたずさわるものは、それに負けないように、ともすれば過剰とも思えるような姿勢で地震に向き合ってきた

した。しかし自然は過酷でした。我々は、この上まだ考えを改めなければならないのか、すぐには答えが出て参りませんが、自然は「甘い」と言っているような気がします。

1000年に一度の巨大地震と報道されていますが、今後は不気味な東南海地震が気になります。私達も建築士という社会的使命に基づき、少しでも災害を減らすよう行動しなければなりません。

「耐震化おすすめ作戦」に参加して 伊藤 顕

昨年11月20日に名古屋市中村区名楽町地区の中村学区幸町下区町内会で行われました「耐震化おすすめ作戦」に参加協力してまいりました。これは、名古屋市と愛知建築地震災害軽減システム研究協議会(減災協)が行っている「地域ぐるみで耐震化」という支援事業の一環です。

この事業は、地域が行う下記の活動などを名古屋市と減災協が支援します。

1.耐震化おすすめ作戦

地域の方と耐震化の専門家がペアを組み、木造住宅耐震化などについて戸別訪問を行う啓発活動

2.学習会・講習会の開催

「住宅の耐震化」「家具の転倒防止」など

3.その他の取り組み

防災マップづくり、耐震改修相談会、高齢者世帯の家具固定

4.報告会

年度末に減災協が開催する市民向け報告会での活動内容の発表

それに対して、下記の支援をしていただけます。

1.耐震化おすすめ作戦の人的支援・協力

2.学習会などの企画支援・講師派遣

3.耐震化おすすめ作戦・学習会など経費の助成

(1地区10万円まで)

4.報告会の開催・運営の支援

以上のような内容で、地域の皆さんが主体となって取り組む活動を通して、地震に対する防災意識を高め、住宅などの耐震化を図ることを目的としています。

その事業の一つである「耐震化おすすめ作戦」に名古屋市耐震化支援室より愛知建築士会名古屋西支部へ参加協力の依頼があった次第です。

この日は、町内会より吉田町内会長をはじめ3人、名古屋市より岩崎氏、事務所協会より国枝氏、名古屋西支部より牛田清文氏・山田正博氏と私の計8人で行いました。

3班に別れ、午前10時より2時間程度で約60世帯を訪問し、無料耐震診断の申し込みを勧誘してまいりました。

事前に訪問する旨の案内がしてあり、半分程度の世帯と面談することができましたが、耐震診断への申し込みを意思表示される方は私の班では4世帯程度でした。熱心に説明を聞いていただけた方も見えたが、ほとんどのの方が余り関心がないようで、地震に対する防災意識の低さが感じられました。



報告会

去る2月14日、愛知県東大手庁舎で行われた「地域ぐるみで耐震化」の報告会にも出席してまいりました。名古屋第一赤十字病院(中村日赤)の南東に位置するこの地域には長屋や借家が多く、耐震診断には全世帯の同意が必要なため申し込みにはいたらなかったケースや、借家人が大家さんに相談したがダメだったケースがあり、結果として訪問件数62件、面談件数38件、診断申し込み件数6件という吉田町内会長の報告でした。予想より少ない申し込み件数に少々驚きましたが、これが現実と受け止めなければなりません。

しかし、こちらの町内会では耐震化おすすめ作戦の他にも

1.名古屋大学飛田潤教授による「講演会」

2.中村消防署と協力して実施した「家具の固定・ガラスの飛散防止説明会」

3.わがやネット(ボランティア)による「家具の固定の要請世帯での実施」

と意欲的に活動されていました。特に家具の固定では固定率60%の目標を立てて実施されたそうで、「耐震化」への町内会の熱意にいたく感心しました。結果は51.4%でしたが、十分満足のいく数値ではないでしょうか。身近で取り組みやすい耐震化への第一歩だと思います。この他にも5学区が参加されており、各町内会長さんたちの熱心な活動報告は、たいへん参考になりました。

耐震診断の申し込み件数が減少している昨今、耐震診断ローラー作戦を行うことにより、皆さんが防災意識に目覚めていただければ価値のある活動になると思います。

このような支援事業の存在をどのくらいの方が知ってもらえるでしょうか。多くの方にこの制度を知っていただき、地域から住民の方々へ耐震化への活動を促進していただけるよう、私たち建築士も積極的に地域に協力する必要性を感じる、とても良い機会となりました。



ローラー作戦

平成23年度支部通常総会のご案内

■ 日 時 平成23年4月20日(水)

午後6時より(受付:5時30分より/懇親会:7時より)

■ 場 所 ホテルサンルートプラザ名古屋

中村区名駅2-35-24 TEL 571-2221

※つきましては、返信用ハガキにて4月12日(火)までに必ず出欠のご回答をお知らせいただき、欠席の場合は委任状欄に記名・押印くださるようご協力ください。

いいインテリアのある場所には
いい生活がある。



SANGETSU <http://www.sangetsu.co.jp>

本社/名古屋店 TEL:052-564-3111 名古屋ショールーム TEL:052-564-3225

清須越400年事業ネットワークの事業が継続されています。12月19日(日)「名古屋城石垣の刻印」と清須越」と題して、刻印石研究者の高田祐吉氏により、鶴舞中央図書館第1会議室

において講演会が開催され、40名ほどの参加者がありました。美濃路庄内川西岸に並べられてある石群のなかに、鍋島藩の刻印(角に七の字)がされた石が発見された。

更に、古城小学校校庭にある刻印石も以前庄内川堤防にあったもので、鍋島藩の刻印とのことです。名古屋城石垣の鍋島藩が担当したところに、同じ刻印の石が多く見られます。



この刻印石から清須越による名古屋城石垣築城のための膨大な石材調達のお話されました。

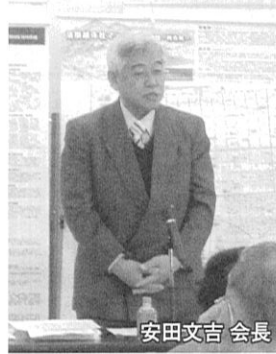
1月22日(土)「清須越と名古屋の伝統芸能について」

美濃路ウォッチング

臼井 一 録 造

南山大学人文学部教授 安田文吉氏(ネットワーク会長)による講演会が大須・名古屋中小企業福祉会館・5F会議室において開催されました。40名弱の参加。

清須越以前、清須が栄えていた頃、阿国というものが、清須山王社(日吉神社)あたりで芝居をしたと伝えられている。1604年桑名・清須で阿国が興行したともいわれ、清須越以前の清須の繁栄振りを示している。1609年、名古屋城築城の人足を当て込んで、加藤清正が熱田で遊女歌舞伎を興行したとも伝えられている。1607年徳川義直家老、平岩親吉が尾張の国政を執っていたとき名古屋に遊女町を免許した。殊の外繁盛したため、その傍に、操り浄



安田文吉 会長

と話されました。

2月20日(日)「小牧・上街道フェスタ+第4回小牧アートフェスタ上街道イベント」において、講演会「美濃路について」美濃路まちづくり推進協議会の活動内容」に講師として参加しました。小牧四丁目上街道沿いにある老舗料亭「水口亭」にて、三味線演奏のあと、1時間に亘り、スライドを使って、美濃路の説明と、まちづくりの取り組みについてお話ししました。その後、上街道散策をし、再び「水口亭」において、茶話会と意見交換が行われ、上街道まちづくりの意気込みが披露されました。私達のまちづくりが少しでも役に立てばと祈っております。



上街道「岸田家」

青年委員会研修見学会

盲導犬の里“富士ハーネス”とレストラン長屋門

水野 志保

2月19日(土)に見学した「盲導犬の里 富士ハーネス 日本盲導犬育成センター」はかつてオウム真理教の総本山のあった場所。あの事件の当時まだ高校生だった私は、山奥の隠れた所なのだと思っていましたが、実際行ってみて驚いたことにすぐ近くに畑などあり、とても思わしい建物があつたとは思えない開けた場所で、北上すれば朝霧高原が広がり、富士山が見える見事なロケーションでした。

富士ハーネスは盲導犬として活躍できる子犬を産み育て、引退後もゆっくりと過ごせる犬たちの総合的な施設で、訓練施設のほかに目の不自由な人が犬と共同で訓練できる場所です。一般の人の盲導犬への理解を深めるスペースやラウンジ、盲導犬の研究といった意義・目的をもつ施設で、ドッグランなど愛犬と一緒に見学に来た人と犬が楽しめる機能も備えています。また富士山を自転車一周するイベントなど、地域の様々な活動拠点としても利用されています。

千葉学さん設計のこの建物は「直線の際立つディテールを攻めた建物だ」という印象が強く、すっきりした印象はともすれば生活感のない冷たい感じを抱かせるものではないかと思っていました。各棟をつなぐ通路部分は全面ガラスが多用され、無駄をそぎ落としたディテール、片流れの屋根の大きなハイサイドライトからドラマチックに見える富士山だけを見ると、目の不自由な人・犬が生活するのにやさしくないのではないかと思ったのですが、サイン計画・仕上材・コントラストの強い色彩を組み合わせた家具などの配慮が所々にありました。

内外の空間を交錯させることで互いの存在を視覚や気配で感じることができたり、各棟をつなぐ通路の床の材質を変えることにより、目の不自由な人が音の違いで自分の場所がわかる仕掛けや、建物の床には床暖房が設けられてあり、人だけでなく伏せたり座って待つ犬への配慮がしてあります。犬の足に負担がかからないように、コルク材やゴム製の床材を選択してある部屋があったり、点字ブロックにも目の不

自由な人が建物のどこにいて、どちらを向いているのかわかりやすいように配慮された配置になっていて、空間としてすっきりした形を保ちながらも、建物を使う人・犬に対する「形にならない優しさ」が伝わってきました。



ハイサイドライトから富士山を望む

医療研究棟のなかにはパートナーである盲導犬との最期の時を過ごす部屋もあり、盲導犬はハーネスを付け、目の不自由な方の目の代わりになる仕事をするという機能的な役割で終わるのではなく、生活を共にする目の不自由な方の一生のパートナーであることを実感させてくれる建物だと感じました。

私が学生の頃、ユニバーサルデザインという言葉が社会的に広がり始めたところで、建築ではどのように形にしていけるのか、ユニバーサルデザインを実現するには何かの仕掛けが必要なのではないかと思っていました。しかしバリアフリーとは違うユニバーサルデザインの定義は、一方を立てると一方が不利益を被ることもあるため、完全なユニバーサルデザインは難しいと思っていました。最近では当たり前になったシャンプーのボルのギザギザ。頭を洗っているときは目が見えないので、シャンプーのボルにギザギザの印をつけ、トリートメントやその他のボルと区別するというプロダクトのユニバーサルデザイン。この配慮で多くの人は快適に過ごすことができ、私が学生の時に考えていたような必ずしも大きな仕掛けが必要とは限らないということに気付かされたものでした。

建築「まち」は今なお多方面で好評を得ています。

昨年は西支部が創立20周年を迎え、記念事業を行い、さらなる支部の発展を誓いました。

愛知建築士会懸案の公益法人化についてはかなり精力を費やしたところです。公益法人化はとてもハードルが高く、予定より1年遅れましたが、会員の皆様のご協力を得て、やっとこの4月にもかなう見込みです。他都府県が断念する中、このような見込みが立ったことはうれしいというよりも安堵の気持ちが強いのです。

西支部は会員の皆様との交流の場として、勉強会見学会を主とした研修事業、会報「めいせい」による広報事業を行っています。ホームページの充実を図り、支部の活動状況の周知報告を行っており、また過去の「めいせい」がすべて閲覧出来るようになりました。さらに、耐震診断事業等や「美濃路まちづくり」など、地域に根ざした活動も活発

富士ハーネスの盲導犬デモンストレーション会場は黒い床に白い椅子で、すっきりした印象を持たせるだけでなく、コントラストの強いわかりやすい配色で、弱視の方やお年寄りでも安心な計画となっていました。様々な活動にこの施設が使われ、盲導犬が足りない現状を打開するために盲導犬を育成し、盲導犬もすこしやすく、目の不自由な方が盲導犬と快適に歩行訓練を行うことができ、一般の人に盲導犬や目の不自由な人に対する理解を無理なく深めることができました。大きな仕掛けはないのだけど、ユニバーサルデザインの原則を思い出し、富士ハーネスの計画・機能・使い勝手を考えると、この施設の存在がユニバーサルデザインのような、そんな感じを抱いた建物でした。

次の見学先のレストラン長屋門は富士ハーネスと同じ設計者です。ガルバリウム鋼板の外壁で、開口部の納まりも同じ仕様でした。江戸時代に建てられた長屋門を改修し、レストランを増築したこの建物は、ぱっとみると歴史的建物と現代建物の対比のように感じたのですが、屋根がアールになっているから馴染んでるように感じました。

次に見学先のレストラン長屋門は富士ハーネスと同じ設計者です。ガルバリウム鋼板の外壁で、開口部の納まりも同じ仕様でした。江戸時代に建てられた長屋門を改修し、レストランを増築したこの建物は、ぱっとみると歴史的建物と現代建物の対比のように感じたのですが、屋根がアールになっているから馴染んでるように感じました。



富士ハーネスにて

に行っています。

来年度以降は公益法人として、今まで以上に公益性を持たせた活動が求められると思いますが、地域と密着した活動をさらに深められるように望みます。

建築士会は他団体同様、会員数の減少という問題をかかえています。支部としては、その活動を通して会員数の充実をめざしておるところですが、在任中の期間では正会員数が271名から270名とほぼ横ばいで、なんとか減少を食い止めております。

この2年間は、景気の一段の落ち込みと、政権が民主党に移り、期待感をもって迎えられたものの、閉塞感が打破できずに失望に変わったこと、名古屋市と愛知県での首長選挙の結果が、全国的に注目を集めたことなど、社会情勢もずいぶん変化がありました。この変化が今後よい方向に動くことを期待します。2年間ありがとうございました。

支部長退任にあたって

江口 眞樹

西支部会員の皆様には、お仕事にまた社会において、ますますご活躍のこととお慶び申し上げます。日頃は支部活動に対してご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

平成21年4月に、支部長の大役を仰せつかり、これまで、とまどいながらも何とか頑張ってきたのも、皆様の支えがあってこそと感謝の気持ちでいっぱいです。

支部にとっては、節目の2年間にあたり、一昨年は名古屋6支部創立20周年記念事業を行いました。耐震偽装事件後の建築基準法改正による圧迫感、その後に訪れた世界不況を払いのけようという思いもあり、「楽しい建築」をテーマとしました。会員以外にも門戸を開いた講演会を開催、また6支部エリアの建物などを紹介した建築マップ「楽しい

私のおすすめ

社交ダンスを習い始めて…

森 恵子

洋裁や手芸、家事など、家にいるだけの専業主婦でしたが…子供が大きくなった6年前、社交ダンスを習い始めました。最初は軽い運動のつもりで入ったのですが、とてもそんな軽い気持ちでは出来ませんでした。

記憶力、脚力、筋力、柔軟性etc…かなり体力も必要でとても驚きました。そしてもっと驚いたのは、ダンスを習っている方達は、年配の方も皆さん姿勢良く元気でとても輝いているという事でした。そし

て軟弱な自分も頑張ってみようと6年間続けてきました。お陰ですいぶん丈夫になってきました。

人は足腰から弱っていきます。背骨も曲がって姿勢も悪くなってきます。尚且つ後ろ向きに歩く事などは少ない中で、ダンスは胸も張って姿勢を正し、それを保って歩くこと、後ろ、横、つま先、かかとなど、足の持つてくる部分をくまなく使い、全身も使います。そして呼吸も大切です。続ける事で姿勢も正しくなり、体型も保てる事を期待して、ずっと楽しみに続けて行きたいと思っています。

元気でいれば子供たちにも迷惑かけなくてすむかなあ〜と淡い気持ちも含めて……。



学生のコーナー

愛知県立芸術大学を見学して

名古屋デザイナー学院
インテリアデザイン学科
インテリアコーディネーターコース 1年
久野 翔平



昨秋行われた「愛知県立芸術大学見学・勉強会〜吉村順三の仕事学ぶ〜」に私も参加させていただきました。そのとき私が感じたことを書かせていただきます。

愛知県立芸術大学は、自然の地形を活かすため、極力地山を荒らさないようにとの自然への想いがあふれていました。そして、建築物は天井高・明るさにメリハリをつけることにより、開放感や伸びやかさ・自由さを強調したり、大きな空間の柱を細く見せるよう工夫したり、講義室棟周りに建物を立てなかったりといった、学生の立場に立ったデザインが多く見られました。学生の心の揺れ、気持ち、行動パターンを十分に観察し、大学という空間に仕立て上げていった設計者の『ワザ』のすごさに驚きを隠せません。

今回の見学で、空間の奥深さや可能性の一端を垣間見た気がします。今後私の作品にも活かしていくことができればいいと思います。

私の清須返し

水野 正次

名古屋開府四百年、清須越四百年の記念すべき年に、事務所を名古屋市中区白壁の地から清須の地に正に「清須返し」を果たし移転しました。私は生まれも育ちも事務所を設立してから白壁（40年ほど前は長堀町と呼ばれていた）でした。100m程東方には当時東二葉町と言われていたところに、文化の道二葉館として利用されている川上貞奴邸（現在国登録有形文化財）が大同特殊鋼の所有で建っていました。近くには市政資料館はじめ旧豊田佐助邸、主税町カトリック教会など由緒ある建造物に囲まれて人生の大半を過ごした訳です。旧町名から推察すれば、武家屋敷の長い堀が連なっていた閑静な町並みが続いていたと思われます。そんな文化と歴史が刻まれた名古屋からその大本に移ってきたんだと感慨深く思っていました。

そんな折に「めいせい記念号」に添付されていた

清須越マップに目を奪われました。というのも、拙宅に月参りの読教をしていたらいる教泉寺のご住職に、「古には私のお寺も清須にあった」とお聞きして、そのお寺の名前がこの清須越マップに載っているではありませんか。ご住職は予めから清須市の何処にあって、どのようなお寺であったか調べたいと仰っていました。残念ながらそこまでの記載がありませんが、何かのきっかけになると思い法事のときにそれをお渡ししました。名古屋市在住のほかの来客の方もこのマップに大変興味を持たれ、その後支部長にお願いし5部ほどお分けいただきました。

清須越マップを通じ改めて清須市と名古屋市の関係を再認識し、400年たった今でも各々の市民の心の中に、脈々と受け継がれている尾張のルーツを知ることが出来たのは、清須越400年事業ネットワークの皆さんと、わが名古屋西支部の美濃路まちづくり推進協議会の皆さんのおかげです。本当にありがとうございました。

今回のことをきっかけとし、お寺のご住職からいただいている旧教泉寺の在り処の宿題に答えるためにも、関係各位からの情報を心よりお待ちしております。

第2回 研修会 レポート

みなと支部／山田 祐嗣

去る、2月18日、INAX名古屋セミナールームに於いて第2回研修会「ここが聞きたい建築基準法」が開催されました。他支部主催の研修会ではありませんが、今回 縁があり参加させて頂きました。当日は（株）確認サービスより、2名の講師をお迎えし、事前に提出された質疑に回答頂く形で研修会は進行致しました。事前質疑の内容は近年の建築基準法改定についてのものも多くあり、参加者の皆様の法改正に対する、感度の高さを感ずることができました。また、講師お二人の回答及び解説はどれも分かりやすいものであり、質問者の皆様の疑問解決に繋がったものと思います。

残念ながら、今回の研修会に際し私からの事前質疑をあげることはありませんでしたが、参加者の方々と講師のやりとりの中にも、とても有意義な時間を過ごす事ができました。事前質疑をあげられた方にとっては、より有意義であったと思います。

研修会の最後には、自由に質問できる質疑応答も設けられました。この中では、直近の時事情報からの質疑もあり、改めて参加者の方々の意欲の高さを感ずる事ができ、私にとっては良い刺激を頂きました。他にも、皆様の経験に基づく質疑もあり、長年の御努力を垣間見ることができました。日々の業務をして建築設備に特化し設計に従事する私にとっては、なかなか取り扱わない部分もあり、皆様の質疑はどれも新鮮なものでありました。併せて普段お話しする機会の少ない設計者の方々の御意見を伺える数少ない機会ともなりました。当日はとても内容の濃いものとなり、時間の流れも忘れる程でありました。

最後に、本研修会にご参加頂きました支部会員の皆様、講師の皆様への感謝の意を述べさせて頂き私の研修会報告とさせていただきます。

建築家千葉学「窓から見える風景」講演会

徳力 真治

1月29日（土）建築家・千葉学氏の建築家講演会がありました。「窓から見える風景」と題して、3時間の講演会でした。会場に用意された2つのスクリーンに、千葉先生のこれまでの作品や設計の過程で造られた模型が映し出され、ついつい引き込まれてしまいました。

窓の機能を分解して考えてみたり、壁厚の部分を鏡面にしてみたりいろんなことを考えて、模型で確認し、実践している様子が分かりました。



後半、趣味の自転車の話になると話が尽きないようで、首都高速をつかって「ツール・ド・首都高」をやってみ



たいなど、冗談のようで真面目に考えているのが面白かったです。

また、富士山のふもとに作られた「富士ハーネス」

は、盲導犬の訓練や余生を過ごすための施設で、建物内部からの富士山・外部から窓に映り込む富士山など、設計時には予想しなかった発見もあったそうです。終わってみれば、3時間もあっという間に過ぎてしまいました。とても楽しかったです。

建築家講演会の準備など、スタッフの方々、どうもお疲れ様でした。

ちなみに名古屋西支部の青年委員会では、この「富士ハーネス」と「レストラン長屋門」という、千葉学氏の設計された建物を見学するツアーを開催します。（2月19日にされました）

設計された建築家の話を聞いてから、その建物を見られるので、とても楽しみです。

超高強度軽量コンクリート製OAフロア

ネットワークフロア29/40

10年保証製品

人と社会に快適テクノロジー

共同カイトック株式会社

URL <http://www.ky-tec.co.jp>

(中部FS営業所) 〒450-0003 名古屋市中村区名駅南1-24-8 TEL (052) 581-0204

Total Media Support

WELL ON 株式会社 ウェルオン

〒460-0007 名古屋市中区新栄三丁目21番31号

TEL 052-732-2227 FAX 052-733-3178

URL <http://www.well-on.co.jp/>16190101(03)
JISQ15001:2006準拠

建築基準法解説シリーズ

新燃岳噴火、日本海側の豪雪
建築士は如何に対応するか

解説担当 馬場 富雄

「今から304年前、江戸の町がゴタゴタしている時に富士山が噴火した」

元禄15年(1702)12月14日浅野家の家臣46名が吉良義央の屋敷に討ち入った。罪名は集団強盗殺人であるが、主仇を討ったということで全国の大名家から助命嘆願書が出された。しかし翌元禄16年協議の結果全員切腹の御沙汰が下り、同2月4日46人は切腹した。当時江戸の町では「殺生禁令」が出され、お犬様が人間より偉い時代で町民の不満は、たまりにたまっていた。そこへ、この46人の切腹事件が加わった。そしてこの年の11月22日、江戸に大地震が起り、江戸の町は大火事も伴って死傷者10万人以上という大惨事になった。そして、その4年後の宝永4年10月4日、再び全国的大地震が起り同11月23日に富士山が噴火した。

以上が富士山噴火の時の社会状況であったが現在の日本で考えてみると、政治の不安定、世界ではテロの横行、市民蜂起、気象異変とまさにゴタゴタしている最中である。その折新燃岳が噴火した。専門家の話によると、この新燃岳は300年前にも1年半続く大噴火をしているとのこと。丁度その時期は富士山の噴火時と重なる。逆に考えると富士山も、そろそろということになる。やはり専門家の話によると富士山の下のマagmaも、かなり動いているそうである。ただいつ噴火するかはわからないとのことであるが噴火しないことを祈るばかりである。さて、前置はこの位にして本来の建築技術の話に移ることにする。まず火山噴火の場合、附近の建物への被害は次の三つに集約できる。

- 火山噴火の際の空気の大振動(空振)により火口より、かなり離れていても窓ガラス等が割れる被害がでた。
- 噴石が10キロ以上離れた所まで飛んだ。小石の場合は屋根に穴をあけ、大石の場合は建物全体を破壊する。更に火山灰が屋根につもり樋もこわれた。
- かなりの雨が降れば土石流が発生する危険がある。(この項は「めいせい」57号で解説済なので今回は省略)

まずAについてであるが割れたガラスの破片により老人施設ではケガ人まででた。空振によりガラスの割れることは仕方ないとしても、その破片が飛び散るのはフィ

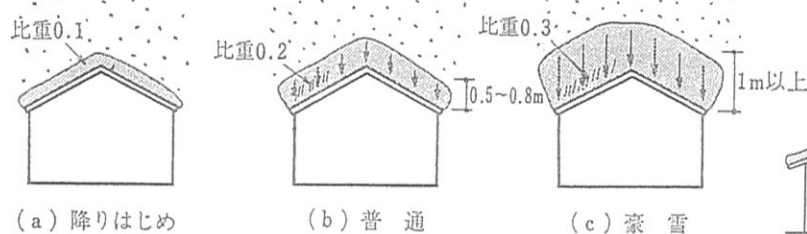


写真1 (ノルウェイ)



写真2 (日本)

図1



(a) 降りはじめ

(b) 普通

(c) 豪雪

ルムを貼ることによってかなり防止することが出来る。更に高価ではあるが合せガラスを採用すれば飛散の心配は全くない。地震対策にも大へん有効である。学校、病院、老人施設等の居室については設計、施工の際には是非施主と打ち合わせされることが望ましい。次にBについてであるがテレビで見ると屋根勾配が普通であると火山灰は、しっかりと屋根につもって下へ落ちてこない。ほかっておけば、やがて雨が降って固まり、どうにもならなくなることは必至である。屋根につもった火山灰を除去するにも危険な作業で事故も心配される。設計の対策としては火山灰が自然落下するまで屋根勾配を大きくすることである。小生の実験結果では、屋根勾配を45°以上にするとうまく下へ流れた。工事費は若干増えるが火山灰が降ってきたときのメリットはとて大きい。(樋受金具の数は増やしておくこと)

次に豪雪について考える。町並で積雪深さは4m~5mの所もあった。雪はつもる程下部の比重が大きくなり(図1参照)積雪5mという乗用車を逆立ちにして屋根の上へびっしり積み込んだことと一緒である。更に積雪は屋根の上へ均等につもらないので構造のチェックが必要である。(図2参照 令第86条第5項)よって通常の構造では圧壊必至となる。施行令でも設計値の積雪をこえた場合は雪おろしを義務付けている。(令第86条第6項、7項)しかし現状では高齢者ばかりで手間がなく、大へんな状態になっている。そして雪おろし作業事故で今年は、す

でに全国で100人以上の命が奪われた。

これにはやはり火山灰のときと同じで屋根勾配を大きくして雪をすべらせる設計にすることが適切である。施行令には屋根勾配が60°をこえる場合には積雪を考えなくてもよいと規定している。(令第86条第4項)実際に雪の多いヨーロッパの古い町並ではそのようになっている。(写真1)日本の風土ではトンガリ屋根の町並実現は、ちょっとむづかしいのであるが建築基準法の建築協定を誘導して国、地方の補助金でも交付すれば50年位の経過で豪雪地方に雪おろしの要らない、トンガリ屋根の町並が出現するのだが…せめて45°位の勾配にしたら、50cm~60cmの積雪で下へすべて落ちてくるのではなかろうか。写真2は近頃高勾配の屋根が町に混在している実例である。

降る雪にも地方によっていろいろと性質が異なり一律に屋根勾配をどれだけにすればよいとは言えないが、雪おろしによって失われる尊い人命のことを考えると学者、建築士共々雪おろしの要らない屋根の研究開発を期待してやまない。

〔問題〕 次のA、B、Cで正しいのはどれか
積雪荷重を考慮する必要のない屋根勾配を
建築基準法施行令では

- 三角関数の数値で定めている。
- 定めている。
- 地方公共団体で定める。

春 夏 秋 冬

今年は夫婦揃って新年を迎えることができました。一昨年の秋より妻は仕事で海外へ渡航しており、この冬はクリスマス休暇を取って出国後初めて一時帰国をしてくれました。

渡航先はカナダのオンタリオ州です。日本から見て北半球のほぼ裏側に位置しており、直行便でも13時間のフライトです。インターネット通話を利用して毎日顔を合わせて話せるおかげでコミュニケーションは良く取れています。お互い一人暮らしは寂しいものです。私はこれまで3回妻の元を訪ねました。目的は妻の励ましですが、建築見学も抜きかりなくなりました。2時間ほど車を走らせトロントを訪れ、ミース、フォスター、リベスキンド、ゲリー、カラトラバ等の建築を見て回りました。こんな機会でもなければなかなか行けないですから、奥様様です。

海外滞在予定期間は2年半。当初果てしなく長いと感じた月日も残すところあと一年、また共に暮らせる日が近づいてきました。ようやく春の気配が感じられるようになったばかりですが、早くも来年の春へと想いを馳せています。春よ来い早く来い♪

渥美 大作

編集後記

東北・関東大震災が発生しました。皆様のご関係の方々、当該被害地の方々がご無事でいらっしゃいますよう、又、どうか被害から一刻も早く立ち直られますよう、心からお祈り申し上げます。

(社)愛知建築士会名古屋西支部

国土交通省大臣認定

建築技術性能証明

建築技術性能証明

造園 外構工事・公共工事 地盤調査・地盤改良 SMD杭製造・販売 石材加工・販売

株式会社 本陣

〒461-0048 名古屋市中村区矢田南三丁目13番7号
TEL: 052-722-3000 FAX: 052-722-8311
E-mail: info@honjin.co URL: http://www.honjin.co

住宅リフォーム・リニューアル工事、耐震補強工事

集合住宅・ビル・マンション・一般住宅・倉庫・工場・営業店舗

豊かな環境を創造する

株式会社 ムラテ

テレビ愛知毎週土曜PM6:30
「ホトチャンネル」CM提供中

URL: http://www.murate.com/

〒453-0861 名古屋市中村区岩塚本通1-51 TEL052-411-8111 FAX052-413-1036
津島(営) TEL 0567-31-0780 名岐(営) TEL052-400-1291

(プレボーリング系高支持力工法)

(中掘系高支持力工法)

日本コンクリート工業株式会社
NIPPON CONCRETE INDUSTRIES CO., LTD.

特許第2920229
special pet amenity

こりゃいいワン!

特許技術による
ペットにとって優しい床

“うづくり
杉フローリング” こりゃいいワン!
床暖房対応“松” たまらんニャー!
フローリング
“光触媒” 腰壁板 におワン・ニャー

有限会社 ジー・エヌ・エヌ
http://www.gnn-yuka.com
〒452-0902 愛知県清須市助七東山中71
【TEL】 052-401-1380 【FAX】 052-401-4345